



2025年8月29日

塩野義製薬株式会社、経済産業省の令和6年度補正グローバルサウス未来志向型 共創等事業費補助金（小規模実証・F S事業）に採択

～ケニア共和国の医療機関における日本発抗菌薬・衛生用品の適正使用に向けたDX活用調査事業～

塩野義製薬株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役会長兼社長 CEO 手代木 功、以下「塩野義製薬」）は、2025年8月1日、ケニア共和国（以下「ケニア」）の医療機関における日本発抗菌薬・衛生用品の適正使用に向けたDX活用調査事業が、経済産業省の令和6年度補正グローバルサウス未来志向型共創等事業費補助金（小規模実証・F S事業）¹に採択されたことをお知らせします。

このたび採択された事業（以下「本事業」）では、薬剤耐性菌（AMR：Antimicrobial resistance）問題が深刻なケニアの医療機関を対象に、デジタルツールによる抗菌薬の適正使用と院内感染制御の体制構築が可能であるかを、サラヤ株式会社と共同で検証します。本事業は、抗菌薬の使用や院内感染制御の状況をデジタルツールにより効率的に管理・可視化することで、抗菌薬の適正使用の推進に寄与することを目的としています。

ケニアでは、2021年に2.8万人以上がAMRによる感染症が原因で亡くなっており²、薬剤耐性菌を増やさない抗菌薬の適正使用体制の構築は重要な社会課題です。本事業により、ケニアの医療機関における感染症患者さまへの適切な抗菌薬の選択と院内感染制御につなげるとともに、将来的には本事業をケニア以外のアフリカ諸国へも展開することで、アフリカ地域でのAMRの発生および拡大を防ぐことに貢献してまいります。

塩野義製薬は取り組むべきマテリアリティ（重要課題）の一つとして「医療アクセスの向上」を特定し、国内外のパートナーも含めた連携活動をさらに強化しつつ³、持続可能な社会の実現に向けてAMR治療へのアクセス向上への取り組み[※]やアフリカでの母子支援活動^{※※}を行っております。塩野義製薬は感染症のリーディングカンパニーとして、公衆衛生上の大きな課題であるAMRやCOVID-19など幅広い感染症への対策に継続して取り組んでまいります。

以上

※ 当社のAMRに対する取り組みについては、[こちら](#)をご覧ください。

※※ 当社のアフリカでの母子支援活動については、[こちら](#)をご覧ください。

【薬剤耐性（AMR：Antimicrobial resistance）について】

薬剤耐性は、抗菌薬に対する細菌の耐性獲得により抗菌薬が効きにくくなることです。AMRは「サイレントパンデミック」と呼ばれ、人類が直面する世界的な公衆衛生上の脅威のひとつであり、緊急に対処が必要な世界規模の重要課題です⁴。2019年には、AMRにより世界中で127万人が死亡したと推定されています⁵。また、国際的な連携により対策を講じなければ、2050年までに年間1,000万人以上が命を落とす問題に発展し、世界経済に与えるインパクトは累積で100兆米ドルに及ぶとの予測がなされています⁶。

【サラヤ株式会社について】

サラヤは、「衛生」「環境」「健康」の3つのキーワードを事業の柱とし、より豊かで実りある地球社会の実現を目指しています。1952年の創業より、一般家庭からプロの現場まで、各種洗浄剤・消毒薬および健康食品などの製品とサービスを開発・提供しています。アフリカでは、2014年よりウガンダにてアルコール手指消毒薬の現地製造販売を開始。ケニア、南スーダン、コンゴ民主共和国等への製品供給とともに、国際協力機構（JICA）や現地保健省との協業により、医療現場における感染管理人材育成にも貢献しています。

<https://www.saraya.com/>

参考

1. 特設ページ：[令和6年度補正 グローバルサウス未来志向型共創等事業費補助金（小規模実証・FS事業）](#)
2. Institute for Health Metrics and Evaluation (IHME). (2022). MICROBE: Measuring Infectious Causes and Resistance Outcomes for Burden Estimation. VizHub. <https://vizhub.healthdata.org/microbe>
3. プレスリリース 2025年5月9日 [長崎大学、サラヤ株式会社、株式会社 Connect Afya との 抗菌薬適正使用体制の支援に関する包括的連携協定の締結について](#)
4. Antimicrobial resistance (who.int) WHO. Antimicrobial resistance. Who.int. Published October 13, 2020. <https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/antimicrobial-resistance>
5. Antimicrobial Resistance Collaborators. Global burden of bacterial antimicrobial resistance in 2019: a systematic analysis. Lancet 2022; 399: 629–55
6. O’Neill J. ‘Tackling Drug-Resistant Infections Globally: Final Report and Recommendations’. Review on Antimicrobial Resistance. May 2016. https://amr-review.org/sites/default/files/160525_Final%20paper_with%20cover.pdf

[お問合せ先]

塩野義製薬ウェブサイト お問い合わせフォーム：[お問い合わせ | 塩野義製薬 \(shionogi.com\)](#)